

漁海況情報第4報 (2009年7月8日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0138

本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/mtsc/>」でも公開中です。

1. 海況

142°E 以東の沖合海域 (100m 深水温) で暖水の影響が強く見られます。

本県沿岸海域 (142°30' E 以西) の表面水温は、前月よりも 3~9 昇温して、15~23 台で、平年よりも約 1~3 高くなりました。また、沖合海域 (142°30' E 以東) の表面水温は、前月よりも 3~4 昇温して、20~21 台で、平年より約 2~3 高くなりました。

100m 深水温については、本県沿岸海域 (142°30' E 以西) では、前月より概ね 1~6 昇温して 9~11 台となり、平年より 1~4 高くなりました。沖合海域 (142°30' E 以東) では、平年よりも概ね 1~4 高く、38°30' N~39°N の海域では平年より約 4 高くなりました。[P1.水温水平分布図] [P1.水温平年偏差図]

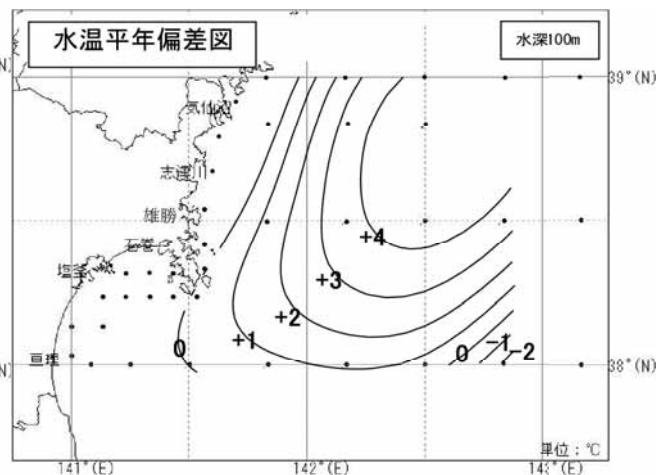
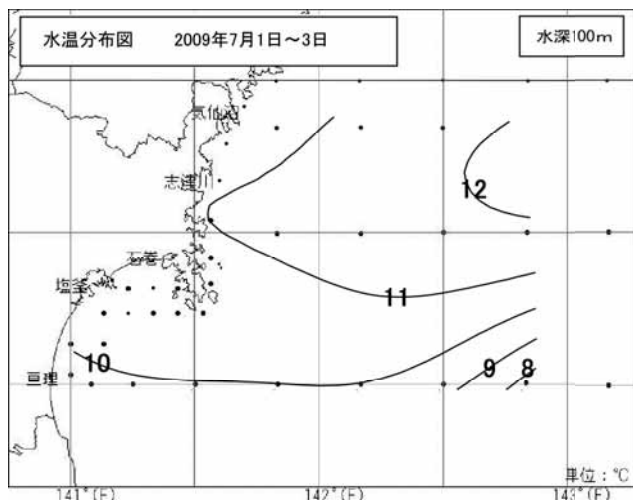
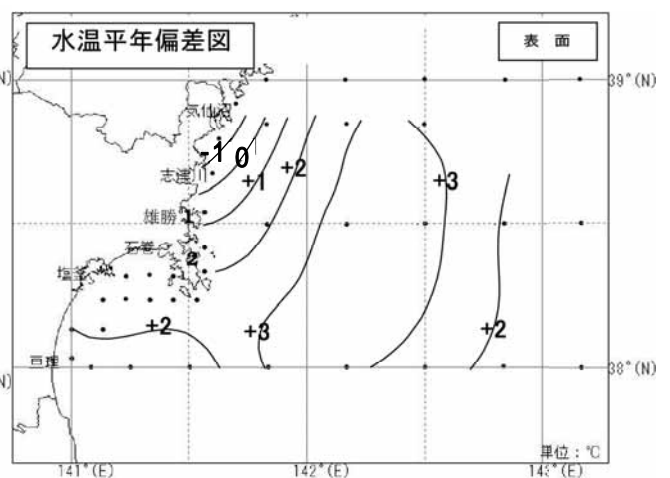
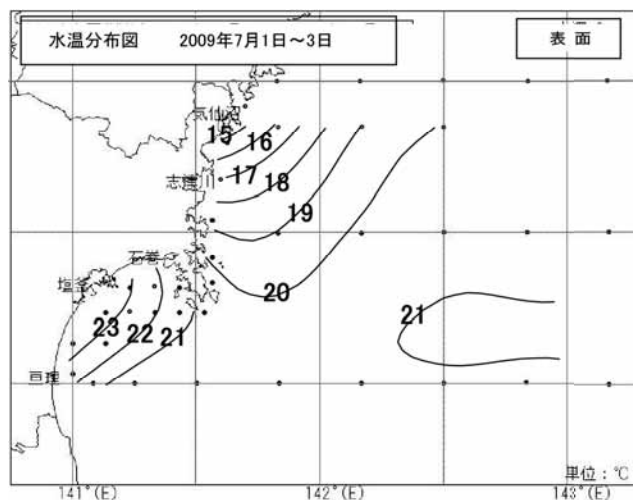
水温鉛直断面図をみると、雄勝沖合ラインと亶理沖合ラインともに、表面付近が昇温し、全般的に表層から水深 200m 層までの温度差が前月よりも大きくなりました。[P2.水温鉛直断面図]

東北海域の表面水温の分布について、本県 142°E 付近まで 20 台の暖水が波及しています。[P2.東北海域の海況図 : (社) 漁業情報サービスセンター]

なお、6月下旬の定地水温は、江島・歌津・田代島で平年並みでした。[P2.定地海洋観測結果]

・水温水平分布図

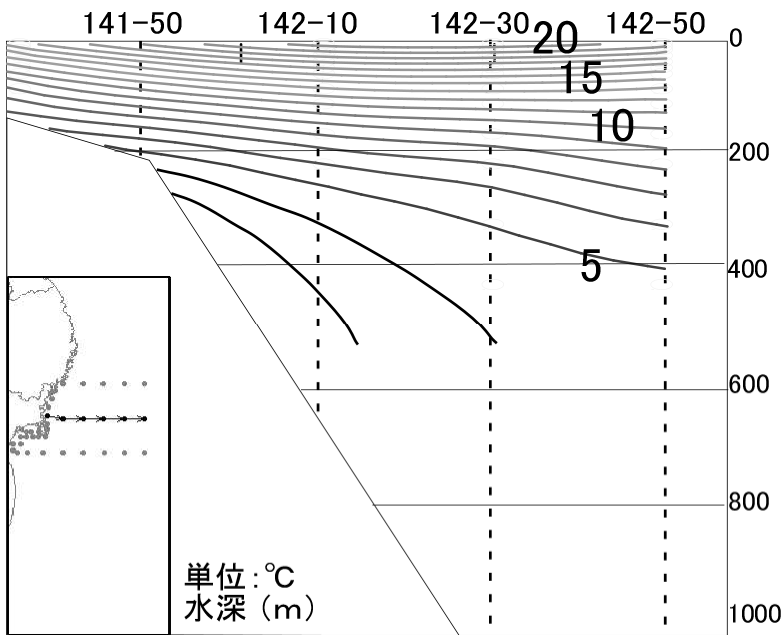
・水温平年偏差図 (現在水温と平年水温との差)



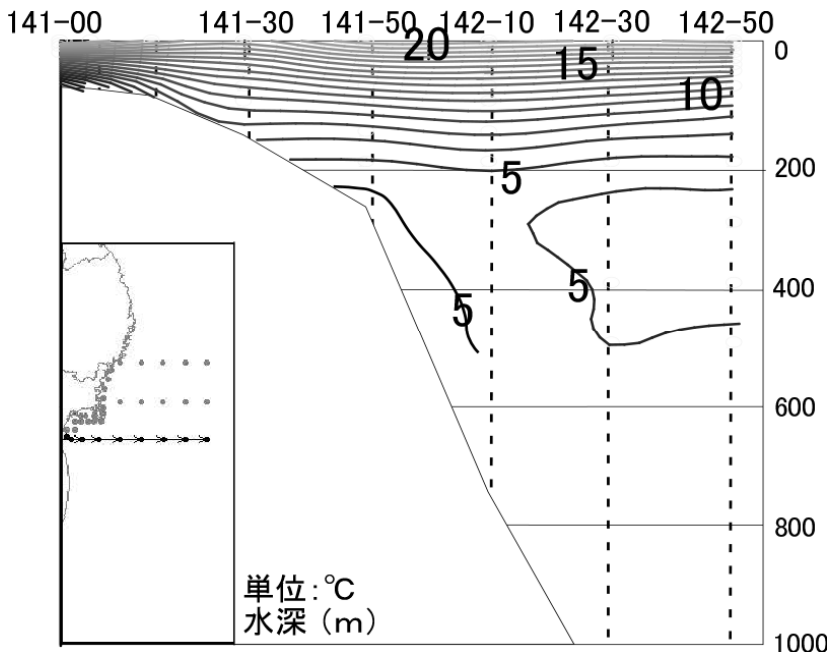
海洋観測は拓洋丸と開洋が実施しました。

・水温鉛直断面図

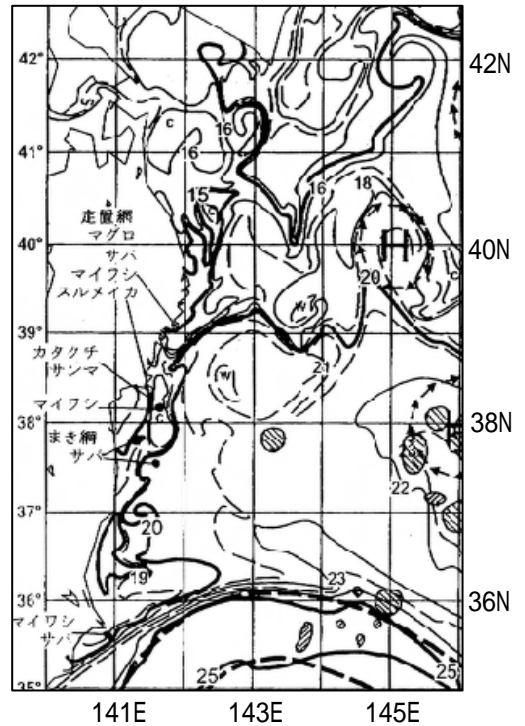
38°30' Nライン(雄勝沖合ライン)



38° Nライン(巨理沖合ライン)



・2009年7月6日の東北海域の海況(表面水温)
(社)漁業情報サービスセンター



特記事項 (社)漁業情報サービスセンター

- ・鹿島灘～金華山沿岸は18～20台。
- ・金華山以北の沿岸は13～20台。
- ・津軽暖流は16～17台。
- ・前年比は概ね並。
- ・近海では、15の北端は42°30' N・145°05' E、20の北端は39°40' N・144°40' E。
- ・37～42° N・142～149° Eを15～23が広く北上。
- ・沖合37°～38° N・146～148° Eに22～23が渦状に分布。
- ・志津川沖～釜石沖(16～21)、勝浦沖～鹿島沖(20～23)等に潮境が分布。
- ・六ヶ所沖(145～148° E)の暖水域は15～16で停滞。

・定地海洋観測結果()

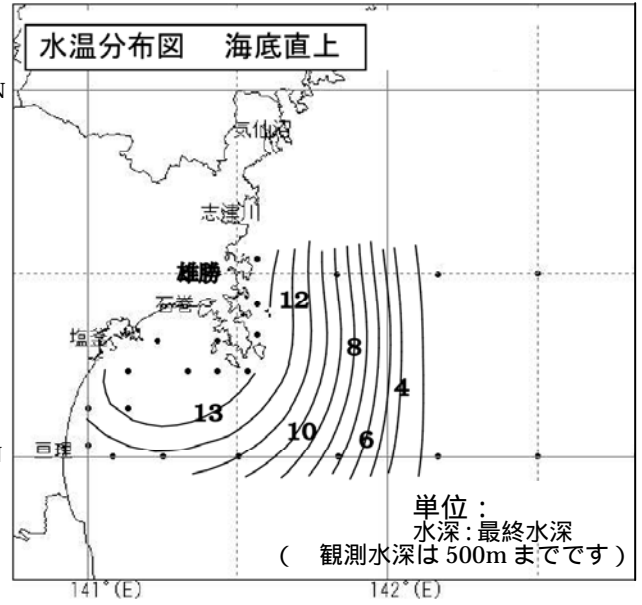
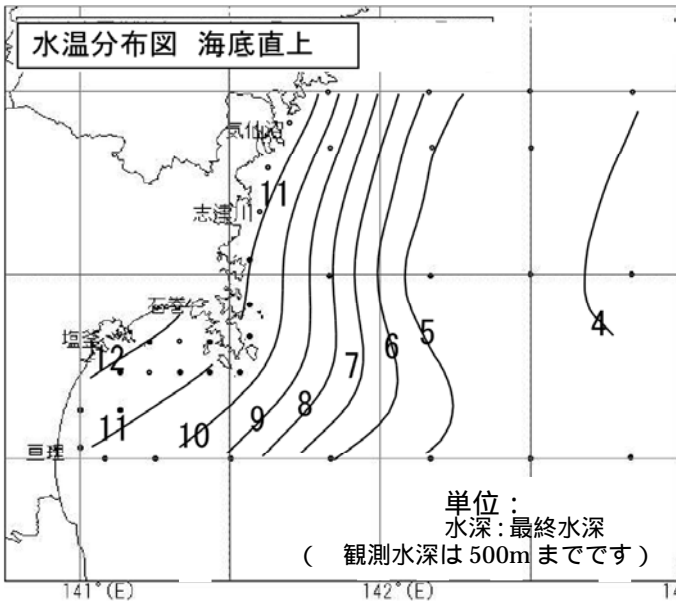
	6月下旬(平年比)	平年差	前年差
歌津	15.2(平年並み)	-0.1	-0.2
江島	15.6(平年並み)	+0.6	+0.5
田代島	18.7(平年並み)	+0.7	+0.9

平年差は、江島、田代島：過去30年間、歌津：過去10年間との比較。
毎日の定地水温情報は当センターホームページでも見られます。
(<http://www.pref.miyagi.jp/mtsc/>)

2. 底層水温図

・海底直上水温(2009年7月1日~3日)

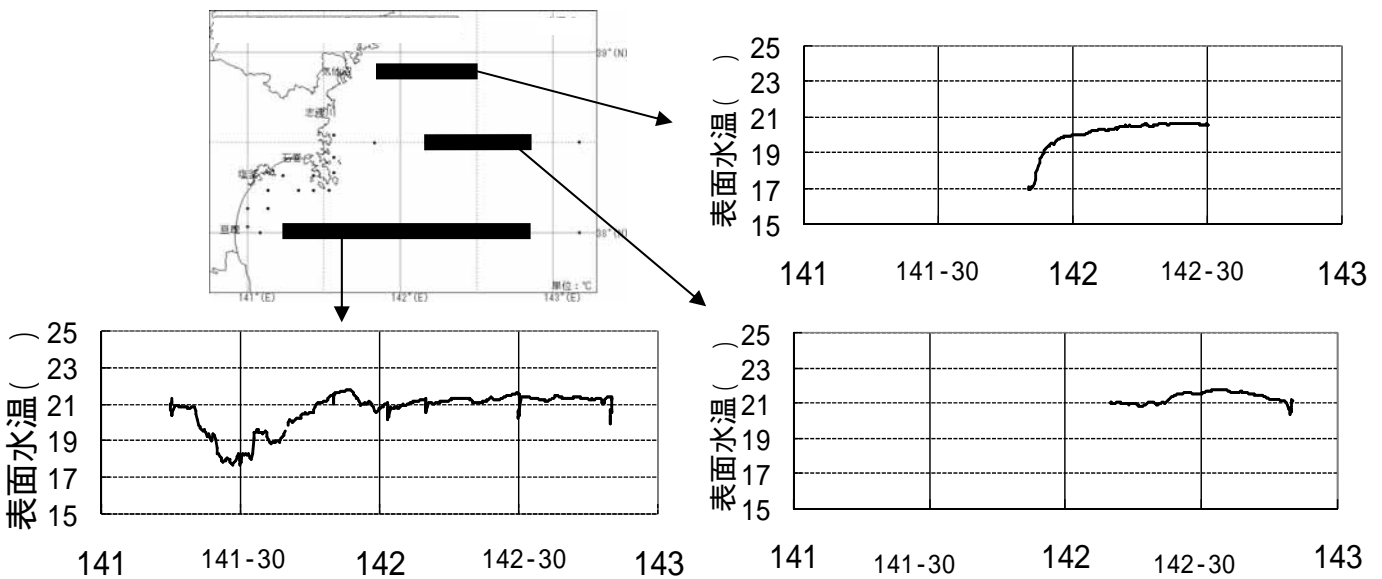
・昨年同期の海底直上水温(2008年7月1日~2日)



海底直上水温について、仙台湾内では約1~2 低くなっています。それ以外の海域では前年並です。

3. 表層水温情報

拓洋丸に搭載している「表層モニタリングシステム」で取得した航走表面水温は、下記のとおりです。



4. 漁況

主要魚種の県内10魚市場の水揚量(集計期間:2009年6月1日~6月30日 単位:t)

魚種	沖底	小底	巻網	定置網(大型)	定置網(小型)	敷網・抄網	沿岸イカ釣	延縄	大目流網	一本釣り	その他	総計	前年比(%)
スルメイカ	2,243	619		463	1		146				27	3,499	1,912
マイワシ			110	38							5	153	7,650
カタクチイワシ				749	5						109	863	258
カツオ			7,410					5		202	27	7,644	61
サバ類	3		657	1,636	1						16	2,313	809
クロマグロ			3	168					17		16	204	729
サワラ				2								2	10
マダラ	242	422		2							164	830	138
スケトウダラ	172	167									63	402	53
キチジ	35										10	45	59
メロウド				2		5						7	15

宮城県総合水産行政情報システムによる集計(暫定集計値)

イカ類漁場調査結果

6月9～10日、6月15～16日に県漁業調査指導船「拓洋丸」でイカ類漁場調査（イカ釣り）を行いました。この調査はスルメイカ北上期におけるイカ類の分布状況等を把握するため、北海道、青森県、岩手県の各水産研究機関、北海道区及び東北区水産研究所と共同で実施しているものです。

調査結果の概要は表1、図1のとおりです。調査点毎のスルメイカのCPUE（釣機1台1時間あたりの釣獲尾数）は0～1.7尾、平均0.39尾でした。調査点の位置は異なりますが、今年は前年（釣獲なし）、前々年（0～1.0尾、平均0.30尾）に比べCPUEは高くなりました。また、釣獲されたスルメイカの外巻長の範囲は15～18cmで釣獲のあった前々年と同じでした。

表1 イカ類漁場調査結果

調査地点	調査月日	開始時刻	操業時間	釣機(台)	スルメイカ釣獲尾数	水深(m)	水温(°C)			外套長組成(cm)								
							表面	50m	100m	13	14	15	16	17	18	19	20	
St.1	6月9日	19:00	2時間	3	3	364	16.9	8.59	7.48			1	2					
St.2	6月9日	22:10	2時間	3	10	606	16.4	11.79	9.60			3	2	4	1			
St.3	6月10日	1:15	2時間	3	1	850	15.9	11.01	7.68			1						
St.4	6月15日	19:00	2時間	3	0	374	14.8	6.14	4.25									
St.5	6月15日	22:15	2時間	3	0	737	16.9	8.55	5.79									
St.6	6月16日	1:40	2時間	3	0	970	16.3	7.03	7.32									

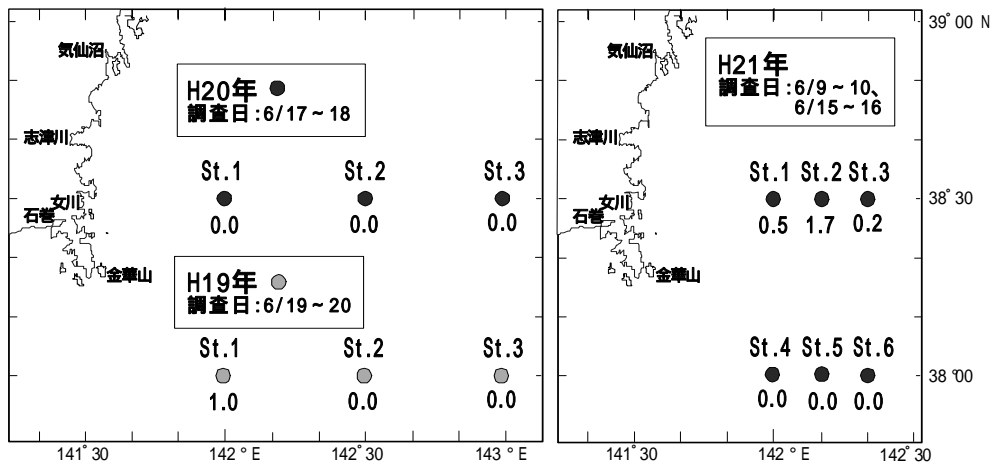
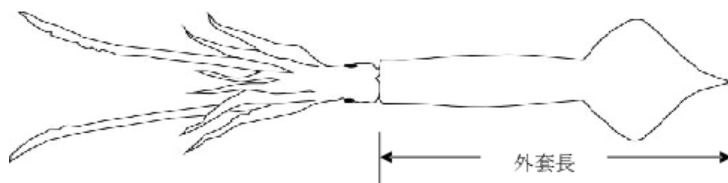


図1 釣機1台1時間あたりの釣獲尾数（尾/時間・台）



(参考)スルメイカの体長測定部位

4. 調査船運航計画

拓 洋 丸	
7月8日	女川湾流速計設置
7月21日～	イカ漁場調査

開 洋	
7月13日	仙台湾定期水質調査
7月14日	女川湾流速計点検確認
7月23日	女川湾流速計回収
7月28日	多項目水質調査